

学校教育目標	○知 : 目標に向かって努力する生徒				
	○徳体: お互いを認め、命を大切にしている生徒				
○公開: 社会に貢献する生徒					
学校概要	創立 48 周年	学校長 飯塚 哲聡	副校長 下田 牧子	2 学期制	一般学級: 17 個別支援学級: 4
	児童生徒数: 605 人		主な関係校: 中田小学校、東中田小学校		

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<ul style="list-style-type: none"> ・自律的、主体的に判断、行動する力 ・人間関係を形成する力 ・互いの良さを生かして協働する力 	中田中学校 中田小学校 東中田小学校	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で考え、判断する力を育てます ・自分も他者も大切にする心を育てます。 ・中田のまちの良さを愛する心を育てます。 ・小中合同授業研究会を通して、指導の連続性を図る。 ・既存の児童生徒交流の場を生かし、3校の交流を促進する。 ・ブロック内専任会を柱に、児童生徒指導についての定期的な情報共有を密に行う。

中期取組目標	○生徒ひとり一人が生き生きと活動し、自分の居場所を感じられる学校づくりを進めます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・自己理解、他者理解に努め、違いを認め合い、人と人とのつながりを大切にしている心を育てます。 ・小さな達成感の積み重ねを大切に、自尊感情を育てます。 ・しっかりと自分の考えを持ち、目標に向かって粘り強く行動する力を育てます。 ・個に応じた指導を充実するとともに、考える授業の実践を目指します。 ・教職員のチームとしての力を高めるとともに、家庭・地域および小学校・関係諸機関との連携を深めます。

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①小中一貫教育ブロックでの授業公開や授業研究月間を通して授業力向上を図る。授業研究月間については展開の改善を図る。②少人数指導、IT指導で基礎基本を定着させ、学力向上を図る。③授業評価項目を見直し、実施することで授業改善につなげる。
担当 教育課程委員会	
豊かな心	①継続的なあいさつ運動を行い明るく安心できる学校にする。②朝会等で行事や委員会など生徒の取組がわかりやすく伝わる機会を増やす。③GWT活動を行い、コミュニケーション力を高めて互いを認め合う関係を作る。④行事を通して、幸福感を共有し、自尊感情を高める。
担当 特活指導部	
特別支援教育	①個別の指導計画、教育支援計画を作成し、共通理解を図る機会を全体で年2回にし、より多くの職員で生徒理解に努める。②職員研修会の充実を図り、日々の支援に生かせるよう促す。③特別支援教室の運営を全職員で行い、支援の充実化を図る。
担当 特別支援委員会	
地域連携	①地域の方を職業講話の講師として招くことで、地域の教育力を学校の現場に生かしていく。②地域の事業所などで行う職場体験を通じて、実践的コミュニケーションなどの社会性の向上を図る。③地域行事への生徒参加を促し、生徒が積極的に関わられる機会を作っていく。
担当 特活指導部	
	c5
担当	
	c6
担当	
	c7
担当	
	c8
担当	
いじめへの対応	①教育相談や月の振り返りを活用し、学校生活の様子を注視することにより、一人ひとりの気持ちの変化や学校生活での不安を把握し、生徒の状況に応じた寄り添った指導や支援ができるようにする。②特性に合わせた適切な支援が行えるように研修を行い、確立した支援体制を維持する。
担当 地域連携・生徒指導部	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①月1回の学年会の中で研修の機会を持ち、学習指導や生徒指導の研究をさらに深める。②企画会を通して各部署との連絡調整を行い、組織の活性化に努める。③持続的に機能する組織を目指すために状況に応じて情報の共有、引き継ぎの徹底を図る。
担当 教務部会	